

V Cooperation with Local Community (Annual Report (2nd semester, 2018-1st semester, 2019))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-03-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 案野, 香子, 袴田, 麻里 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00027182

V 地域交流

案野 香子／袴田 麻里

平成30年9月より、静岡大学の理系大学院生3名が静岡市立高校において英語ティーチングアシスタントとして生徒の指導を開始した。

10月10日(水)、静岡県立浜松北高校国際科の生徒40名が授業の一環として来校し、留学生と英語で交流した。

10月24日(水)に、静岡大学付属浜松小学校での英語での交流会に5名の留学生が参加し、小学生から英語で静岡県や浜松市の紹介を受けた。

11月より、静岡聖光学院中学校・高校の英語クラスのTAとして、12名の留学生が毎週訪れ、プレゼンテーションや英語を通じた社会学習の支援を行った。

11月16日(金)から18日(日)まで、浜松キャンパスの留学生7名(インド3、韓国1、バングラデシュ1、インドネシア2)が、浜松市内の6家庭でホームステイし、日本の生活様式や習慣、文化を体験した。

11月18日(土)から19日(日)まで、静岡キャンパスのインド人留学生が家族とともに袋井市内でホームステイし、日本の生活様式や習慣、文化を体験した。

11月25日(土)佐鳴会館で行われた裏千家淡交会浜松支部からの招待を受け25名の留学生が参加した。日本語・英語にて作法について説明を受けた後、お点前を体験した。

12月22日(土)・23日(日)に富士市立少年自然の家で行われた「話っ、輪っ、和っ!」(主催:静岡県留学生等交流推進協議会)に本学を含む県内大学から留学生59名、日本人学生24名が参加し、他大学の学生と話し合いやゲーム、食事などをともにして交流を深めた。

12月18日(月)、12月20日(水)に静岡大学付属浜松中学校3年生の英語授業に、バングラデシュ、インド、インドネシアなどの留学生15名ほどが参加し、中学生と日本や母国について英語で話し合った。

平成30年1月11日(金)、ABP学部1年生が工学部学生後援会から留学生企画補助を受けて新年会を企画し、日本人学生と留学生の交流を促した。

5月11日(土)に、日本平において、富士山を眺めながら28名の留学生が茶摘みを行った。またお茶の葉の天ぷらもいただくことができ、全員初めての体験を満喫した。

5月11日(土)に、浜松市茶室「松韻亭」において、国際ソロプチミスト浜松から招待を受け、7名の留学生が日本庭園を楽しみながら本格的な茶事を体験した。

6月1日(土)～8月31日(土)に、留学生限定の「卒業袴」着付体験が、静岡市「写楽館」の提案で行われた。

6月5日(水)に、総合科学技術研究科工学専攻・情報学専攻1年の留学生を対象としたインターンシップ説明会に協力した。その後、留学生は静岡国際経済振興会主催「外国人留学生企業交流会」で企業と面談した。

6月28日(金)、7月10日(水)に、付属浜松中学校の英語授業に9名の留学生が参加し、学校生活や将来について生徒と話し合い、英語、日本語で交流した。

7月3日(水)に、付属浜松小学校の英語授業に7名の留学生が参加し、地震防災について発

表を聞いた。

7月12日(金)に、県立川根高等学校生徒との英語交流をSkypeで行った。

9月14日(土)から16日(月)まで、袋井ベトナム友好協会からの招待を受け、ベトナム人留学生4名が袋井市内でホームステイし、浅羽佐喜太郎記念碑のある常林寺を訪れるなどして交流を深めた。